

令和5年度森林環境譲与税の内訳

(単位:円)

令和4年度末時点の森林環境整備基金残高	270,767,799
---------------------	-------------

【譲与税の歳入】

令和5年度森林環境譲与税譲与額	140,850,000
森林環境整備基金利子	5,215

【譲与税充当事業】

	名称	予算科目	決算額
1	森林啓発に関する事業 (イベント出展、啓発品製作等)		920,452
		消耗品費	346,444
		原材料費	566,280
		旅費	7,728
2	森林管理に関する事業(ナラ枯れ対策等)		5,504,415
		消耗品費	2,937,959
		負担金補助及び交付金	2,548,000
		旅費	18,456
A 農業環境整備課事業費計			6,424,867
3	職員研修センター敷地内ベンチ修繕	修繕料	453,619
4	猿花キャンプ場ナラ枯木伐採業務	委託料	4,939,000
5	SDGsマグネットバッジ製作業務	委託料	688,820
6	農村広場掲示板等設置工事(春おか広場)	工事請負費	14,404,500
7	大宮花の丘農林公苑ベンチ等設置工事	工事請負費	3,377,000
8	憩いの場整備工事 (ウッドデッキ及び階段の設置・みぬま木崎ひろば 隣接)	工事請負費	4,928,000
9	オープン型緑地整備事業 (木製掲示板等の設置・南中丸特別緑地保全地区外5箇所)	工事請負費	5,170,000
10	オープン型緑地整備事業 (野外卓の設置等・大和田緑地公園特別緑地保全地区)	工事請負費	6,941,000
11	ナラ枯れ対策事業 (上加南特別緑地保全地区外3箇所)		24,508,000
		委託料	3,080,000
		工事請負費	21,428,000
12	ナラ枯れ対策事業 (木崎特別緑地保全地区外2箇所)	施設等保守 管理委託料	9,217,269
13	岩槻区観光案内木製サイン整備事業		2,993,100
		修繕料	338,800
		委託料	2,654,300
B 他課事業費(森林環境譲与税充当額)計			77,620,308
A +B 事業への充当額合計			84,045,175

令和5年度末時点の森林環境整備基金残高	301,909,839
---------------------	-------------

各事業について

	名称	事業について
1	森林啓発に関する事業	山間部自治体と協働して市内イベントに出展し、市内特別支援学校の協力により埼玉県産木材で製作した啓発品の配布を行うとともに、森林の果たす公益的役割や木材利用の必要性の普及啓発を行いました。 また、市内高校の協力により、埼玉県産木材で製作した玩具を市内保育園に寄贈しました。
2	森林管理に関する事業	庁内関係課所によるナラ枯れ防除対策のため、薬剤を購入し配布しました。加えて、講師を招きナラ枯れ防除対策薬剤等の使用研修を実施しました。 また、ナラ枯れの拡大防止を目的に森林所有者等に対し、防除対策の一部について補助金の交付を行いました。
3	職員研修センター敷地内ベンチ修繕	職員研修センター敷地内のベンチ13か所について、腐食している座面を交換し、防腐加工を施すことにより補修しました。

	名称	事業について
4	猿花キャンプ場ナラ枯木伐採業務	猿花キャンプ場において、ナラ枯れの影響により倒木の危険性が高い枯損木の伐採を実施しました。  
5	SDGsマグネットバッジ製作業務	間伐材（埼玉県産木材）を使用したSDGsマグネットバッジを1,000個作成し、市内のSDGs認証企業に配付することで、SDGsの取組及び木材利用の必要性の普及啓発を図りました。 
6	農村広場掲示板等設置工事	農村広場（春おか広場）内に木製の案内板を1台、大型案内板を1台、掲示板を5台、野外卓を1台、背付きベンチを8台、背無しベンチを8台、ロープ柵を10m設置しました。  
7	大宮花の丘農林公苑ベンチ等設置工事	大宮花の丘農林公苑内に木製の背無しベンチを11台、野外卓を2基、平均台を1基設置しました。  

	名称	事業について
8	憩いの場整備工事	見沼田んぼの桜回廊の散策環境向上や安全性の向上のため、みぬま木崎ひろばの隣接地にウッドデッキおよび階段を設置しました。  
9	オープン型緑地整備事業 (南中丸特別緑地保全地区外 5箇所)	保全活動を地域に周知することを目的とした木製の掲示板及び園名板を計6緑地に設置しました。掲示板（5緑地：南中丸特別緑地保全地区、上加自然の森、盆栽緑地公園、春里特別緑地保全地区、大和田緑地公園特別緑地保全地区）、園名板（1緑地：大谷松原自然緑地）。  
10	オープン型緑地整備事業 (大和田緑地公園特別緑地保全地区)	大和田緑地公園特別緑地保全地区をオープン型緑地として整備し、国産木材を使用した野外卓を2卓設置しました。 
11	ナラ枯れ対策事業 (上加南特別緑地保全地区外 3箇所)	上加南・小深作・南中丸・南中野のオープン型緑地において、ナラ枯れ被害の更なる拡大を防止するため、緑地の現地測量及び樹種調査を行うとともに、倒木の危険性が高い枯損木の伐採と補植を実施しました。 

	名称	事業について
1 2	ナラ枯れ対策事業 (木崎特別緑地保全地区外 2箇所)	木崎・西宿・大牧の特別緑地保全地区において、ナラ枯れの影響により危険性のある立木枯損木の伐採を実施しました。